

「力」

2021年度 指導力開発室

副理事長 吉田 雄太

明るい豊かな社会の実現には次代を担う地域の子供達の育成は欠かせません。

子供達が大人になり、これからの尾道を担っていく人材となる時、故郷での経験は間違いなく彼らの活動の原動力となるはずです。

子供達に「尾道で育ってよかった」と思ってもらえるような環境を提供していくために、我々が今何をすべきかを模索していかなければなりません。

そのための「力」を、今私たち尾道青年会議所は求められています。

ここで言う「力」とは、行動力、求心力、発信力をはじめ、尾道青年会議所が活動をするための源となるものであり、私はこの「力」を生み出すために、組織として堅固であることが不可欠であると考えます。一枚岩ではない組織は何をしても中途半端になってしまいますし、組織としても意味を成しません。

この尾道青年会議所が創立されて以来64年が経ちますが、近年会員の結束力が希薄になってきているのではないかと危惧をしています。

たとえ委員会単位で一つになったとしてもまだ不十分です。会全体で同じ方向にベクトルを向け一枚岩となり、10年、20年先を見据えたこの尾道青年会議所の在り方を模索していく必要があります。

そのために、今一度「縦のつながり、横のつながり」を強化し、目まぐるしく変化する時代の中でも変わる事の無い確固たる組織としての「力」を発揮し、共に高め合って参りましょう。